



令和2年3月9日
海上保安庁

潜水士育成システムをマレーシアに伝授！

～ マレーシアにて潜水技術指導者養成研修を開催（結果概要）～

海上保安庁は、2月16日（日）から3月7日（土）までの間、潜水技術指導者の育成支援のために、マレーシア海上法令執行庁（MMEA）に潜水士等8名を派遣し、海上保安庁における潜水士育成システムを伝授しました。インド沿岸警備隊（ICG）の潜水士も本研修に参加しました。

海上保安庁では、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて、本取組みを通じて世界の海上保安機関との信頼関係の深化を図るとともに、今後も法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の維持・強化に貢献していきます。



深深度潜水技術訓練（海洋実習）

【概要】

海上保安庁では、2014年からマレーシアに対し、中長期的に潜水技術向上のための支援を実施しております。昨年からは、3年計画でMMEA自らが継続的に潜水士を育成することが出来るようになるための体制構築を目的として本研修を実施しており、今年は2年目になります。

2月16日（日）から3月7日（土）までの間、海上保安庁モバイルコーポレーションチーム、救難課職員、海上保安大学校訓練教官、特殊救難隊及び海上保安庁潜水士計8名をマレーシアに派遣し、以下の通り潜水技術指導者の育成を目的とした訓練を行いました。

- ① 座学：潜水に係る基礎知識、安全管理、転覆船からの救助法など
- ② プール実習：基礎体力・潜水技術強化、模擬転覆船からの救助など
- ③ 海洋実習：深深度潜水技術、転覆船を想定した人命救助法など

1. 日程

令和2年2月16日（日）から3月7日（土）まで（21日間）

2. 場所

座学・プール実習：マレーシア海上法令執行庁研修訓練センター（マレーシア・クアランタン AMSAS:Academy Maritime Sultan Ahmad Shah）

海洋実習：Tioman 島沖合海域

3. 派遣者

海上保安庁モバイルコーポレーションチーム	1名
警備救難部救難課	1名
海上保安大学校訓練教官（潜水担当）	2名
第三管区海上保安本部羽田特殊救難基地特殊救難隊員	1名
第六管区海上保安本部呉海上保安部巡視船くろせ潜水士	1名
第七管区海上保安本部大分海上保安部巡視船やまくに潜水士	1名
第十一管区海上保安本部宮古島海上保安部巡視船はりみず潜水士	1名

4. 訓練参加者

MMEA：潜水士	16名
巡視船ランカウイ乗組員	52名（海洋実習の支援）
巡視船パカン乗組員	3名（座学講義のみ）
ICG：潜水士	3名

5. 訓練状況



模擬転覆船進入訓練（プール実習）